

御意見の要旨とそれに対する本市の考え方について

(参考)区分について

- A 答申案に反映するもの(7件)
- B 答申案に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの(227件)
- C 活性化方針の推進に当たり、参考とするもの(104件)
- D その他、市政運営等で参考とするもの(9件)

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
0	総論	活性化方針が着実に推進され、本エリアが活性化することを期待する。	9	B	本エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れることにより、「若者」を中心とした新たな人の流れを生み出し、本エリアの課題でもある人口減少や高齢化の進展に歯止めを掛けるとともに、京都駅周辺地域の活性化の動きと連動させることにより、本エリアの活性化、ひいては京都全体の活性化につなげてまいります。
0	総論	総花的な方針であり、インパクトに欠ける。	1	C	本活性化方針を着実に推進し、「文化芸術を基軸に、伝統産業、観光、教育などのあらゆる分野と融合することにより、新しい価値を創造し、世界中の人々を惹きつけ、訪れたいまち」をはじめ、4つの将来像の実現に向けて、取り組んでいきます。
0	総論	「世界文化自由都市宣言」の趣旨をしっかりと踏まえるべきである。	1	B	本活性化方針は、世界文化自由都市宣言に掲げる理想の実現を目指し、策定したものであり、推進に当たっても、その趣旨を踏まえてまいります。
1	目的	「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりを進めることに賛同する。	3	B	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家などと京都市が協働し、「文化芸術」と「若者」を基軸とした活性化に主体的かつ積極的に取り組み、心豊かに住み続けられるまちとなるよう、取り組んでまいります。
1	目的	「文化芸術」を基軸としたまちづくりを進めることに賛同する。	3	B	
1	目的	本エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れることに賛同する。	1	B	
1	目的	「環境」の視点を取り入れるべきである。	1	C	本活性化方針の具体化に取り組んでいくなかで、「環境」の視点も取り入れて進めてまいります。
1	目的	芸術家等も、本エリアの活性化に取り組む主体であることを明記すべきである。	1	A	本活性化方針「Ⅰ 活性化方針策定の目的」における協働して取り組む主体に関する記述を「地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、 <u>芸術家</u> などと京都市が協働し、」と改めます。
1	目的	京都駅周辺全体ではなく、本エリアだけを対象とした活性化方針を策定する理由が分かりにくい。	1	C	本活性化方針においては、京都駅の集客力をいかした若者をはじめとする新たな人の流れの創出や、本エリアに点在する市有地の有効活用を図るといった観点の下、対象エリアを設定するとともに、「京都駅周辺の各エリアとの連携を図り、エリア間の相乗効果を追及する。」ことを策定の基本的な考え方としております。本エリアの活性化が、京都駅周辺全体の活性化につながるよう、取り組んでまいります。
1	目的	文化庁の京都への全面的な移転と、本エリアとの関係が分かりにくい。	1	C	文化庁の京都への全面的な移転が決定され、今後、世界を視野に入れた新たな文化行政、文化交流を推進していくに当たり、国際観光都市・京都の玄関口であり、多数の人が行き交う京都駅周辺において、京都芸大の移転を踏まえた、文化芸術によるまちづくりを進めることが必要であると考えております。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
1	目的	「文化芸術」という新たな視点を取り入れることで、何故、人口減少や高齢化の進展に歯止めが掛かるのかが分かりにくい。	1	C	文化芸術関連産業の集積による雇用の創出や、若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり等に取り組むことにより、若者の移住・定住を促進してまいります。また、文化活動等を通じて大学・学生・若者と地域の交流、まちづくりへの参加を促進することなどにより、将来のまちづくりの担い手を確保、育成してまいります。
1	目的	本エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れることで、地域住民にどのようなメリットがあるのかが分かりにくい。	3	C	
1	目的	本エリアの活性化をどのようにして京都全体の活性化につなげていくのかが分かりにくい。	1	C	本エリアは市内各地へのアクセスに便利な京都駅に近接した地域であるため、本エリアに「若者」を中心とした新たな人の流れや賑わいを生み出すことができれば、その人の流れや賑わいが、周辺地域や市内の他の地域にも波及し、本市全体の活性化につながっていくと考えております。
1	目的	本エリアの活性化を他の地域の活性化につなげていくことが必要である。	1	B	本エリアの活性化と、京都駅周辺地域をはじめとする他の地域の活性化の動きを連動させ、京都全体の活性化につなげてまいります。
2	基本事項	京都駅周辺全体として、まちづくりに取り組むべきである。	1	B	本エリアをはじめとする京都駅周辺の各エリアが、文化芸術や観光等の資源を生かした回遊性の向上など、多くの人が集まる京都駅の人の流れをいかした効果的な活性化に取り組み、京都駅周辺全体、京都全体の活性化につなげてまいります。
2	基本事項	京都駅周辺の各エリアとの連携を図り、京都駅周辺全体として活性化することを期待する。	1	B	
2	基本事項	対象とするエリアに限定するのではなく、隣接する地域との関係を考慮した活性化を進めるべきである。	1	B	
2	基本事項	対象エリアを限定するべきでない。	1	C	
2	基本事項	近隣都市との連携を検討してほしい。	1	C	本活性化方針の具体化に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
2	基本事項	「策定の基本的な考え方」として、「エリアが育んできたまちづくりを尊重し、連携しながら、新しい視点を取り入れたまち」とあるが、具体的なイメージが分かりにくい。	1	C	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家などと京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、本活性化方針の具体化に取り組んでまいります。
9	特徴	地域の歴史的経過をもう少し詳細に記載してほしいかがか。	1	C	本活性化方針を周知するなかで、地域の歴史的経過についても、正確に発信してまいります。
11	地域資源	京都芸大の移転も含め、大きな可能性を有したエリアである。	1	B	住民主体のまちづくり、高い交通利便性、創作活動にふさわしい環境、隣接地域への京都芸大の移転など、多彩な地域資源をいかし、本エリアの活性化に取り組んでまいります。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
14	地域資源	魅力ある水辺環境をまちづくりにいかしてはいかかがか。	3	B	
16	地域資源	長年にわたり、様々な人が互いの多様性を認め合い、住民主体のまちづくりに取り組んできた地域の歴史を大切にしてほしい。	7	B	
16	地域資源	地域の文化活動等をまちづくりにいかしてほしい。	1	B	
11	地域資源	いい意味での「周縁性」を守り、いかしてほしい。	2	B	
16	課題	これまでのまちづくりと多様な新しい力との融合が、課題である。	2	B	
16	課題	人口減少や高齢化の進展に歯止めを掛けることが大きな課題である。	1	B	
16	課題	本エリア内のアクセスしにくい場所をどのようにして活性化するのが課題である。	1	C	
17	将来像	目指すべき将来像に賛同する。	1	B	
17	将来像	京都の玄関口にふさわしい魅力的な機能が集積するまちとなることを期待する。	1	B	
17	将来像	若者が住みたいと思い、住み続けられるまちになることを期待する。	3	B	
17	将来像	過去に地区外に転出した若者が本エリアに住める、住みたくなるまちになることを期待する。	1	B	
17	将来像	多くの人が交流するまちとなることを期待する。	4	B	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
17	将来像	多くの人が行き交う、活気のあるまちになることを期待する。	1	B	
17	将来像	様々な人が安心して暮らし続けられるまちになることを期待する。	3	B	
17	将来像	若者だけでなく、高齢者や子ども、障がいのある人、国籍や文化的背景の異なる人など、様々な人が交流するまちを目指すべきである。	2	B	
17	将来像	若者だけでなく、幅広い世代の人が暮らすまちを目指すべきである。	1	B	
17	将来像	幅広い多文化共生を更に進めてほしい。	4	B	
17	将来像	若者を中心に、多くの人が住み、学び、働き、交流する活気のあるまちになることを期待する。	1	B	
17	将来像	障がいのある人も、心豊かに住み続けられるまちになることを期待する。	1	B	
17	将来像	様々な人が互いの多様性を認め合い、心豊かに住み続けられるまちになることを期待する。	1	B	
17	将来像	打ち出しのためには、目指すべき将来像を一つに絞るべきである。	1	C	
17	将来像	将来像が抽象的である。	1	C	
18	方策	施設を整備するだけでなく、それをどのようにまちづくりにいかすか、またまちづくりを進めるうえで必要な機能は何か、という視点が必要である。	1	B	誘致する施設や事業の方向性を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
18	方策	ソフト面の充実が必要である。	2	B	移住・定住した若者の地域活動等への参加の橋渡しや、文化活動等を通じた大学・学生・若者と地域の交流、まちづくりへの参加促進などソフト面にも、しっかりと取り組んでまいります。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
18	方策	本エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れていくための仕掛けが必要である。	1	B	地域住民と若手芸術家などが参加するワークショップやイベントの開催などを通じて、まちづくりや地域活動に文化芸術という新たな視点を取り入れるための機運醸成を図ってまいります。
18	方策	求心力のある方策を実施し、活性化の機運の向上を図ることが必要である。	1	B	未活用の市有地に「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」を誘致すること等により、日本の文化芸術を牽引し、世界の人々を魅了する創造環境を整備し、「若者」を中心とした新たな人の流れを生み出すことで、活性化の流れをつくっていききたいと考えております。
18	方策	未活用の市有地の活用をまちづくりのきっかけにはいかがか。	2	B	
18	方策	取組例を挙げるなど、推進項目の内容をより具体的に記載した方がよい。	1	C	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家など京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、取組を進めていくなかで、個々の推進項目の内容を具体化してまいります。
19	柱1	音楽を創造する環境の整備にも取り組んでほしい。	1	B	音楽や暮らしの文化等を含め、広く「文化芸術」ととらえ、取り組んでまいります。
19	柱1	地域に根差した暮らしの文化を感じられる機会をつくってほしい。	2	B	
19	柱1	「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」として、何を誘致するかが重要である。	1	B	「「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」の誘致」は、本活性化方針を推進していくに当たり、核となる推進項目であると考えており、早期に方向性を固め、具体化に取り組んでまいります。
19	柱1	「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」の誘致に積極的に取り組んでほしい。	1	B	
19	柱1	「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」の誘致を実現するために、経済的支援等、京都市としても一歩踏み込んだ方策を講じるべきである。	1	C	
19	柱1	集客力のある施設を誘致してほしい。	6	B	
19	柱1	文化芸術関連施設や、地域のまちづくりに資する施設を誘致してほしい。	1	B	
19	柱1	文化芸術に資する施設を誘致してはいかがか。	2	B	「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」の誘致を検討していくうえで、参考にさせていただきます。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方	
19	柱1	文化芸術の視点を取り入れた、「京都らしさ」につながる施設を誘致してほしい。	1	B		
19	柱1	防音設備のある練習場や様々な形に変えられる舞台などを備えたホールを整備してほしい。	1	C		
19	柱1	伝統伝承芸能の常設上演劇場を整備してほしいかがか。	1	C		
19	柱1	演劇や映画等を定期的上映する劇場を整備してほしい。	1	C		
19	柱1	文化芸術を体験できる施設が必要である。	1	B		
19	柱1	京都の歴史を学び、体験できる施設を整備してほしいかがか。	2	B		
19	柱1	「羅城門」を復元し、京都を学び体感することのできる「平安博物館」を建設し、その間の空間に、斬新な文化芸術の発信の場「平安広場」を設け、新しい価値の創造と発信拠点を形成する。	1	C		
19	柱1	「MANGAナショナル・センター」機能を誘致すべきである。	1	C		MANGAナショナル・センターの機能を誘致することは、コンテンツ系の教育・研究機関が集積し、国際的な発信力を持つ本市のみならず、日本全体の発信力強化につながるものと考えています。今後、国等の状況を踏まえて誘致する機能や場所等を検討し、取り組んでまいります。
19	柱1	京都芸大の学生と地域の子ども達に触れ合う機会を設けてほしい。	2	B		芸術系大学等と連携した、文化芸術を学び、体験する機会の提供、地域の文化活動などの充実に取り組んでまいります。
19	柱1	京都芸大と作品制作等の面でも連携を図るべきである。	1	B		
19	柱1	文化芸術に親しむことができる場をつくってほしいかがか。	1	B	「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」や京都芸大をはじめとする芸術系大学、企業、若手芸術家を支援する団体等と連携し、文化芸術を学び、体験する機会の提供や、地域の文化活動などの充実に取り組んでまいります。	
19	柱1	地域の子ども達が文化芸術に触れる機会を設けてほしい。	2	B		

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
19	柱1	地域の文化活動等がしやすいまちになることを期待する。	5	B	
19	柱1	文化芸術による交流の場をつくってほしい。	1	B	
19	柱1	東山区で「文化芸術による地域のまちづくり」に取り組んでいる「東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス(HAPS)」と連携するといひ。	1	C	
19	柱1	若手芸術家等の居住・制作・発表の場をつくってほしい。	1	B	若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりとして、空き家や市有地の暫定利用、道路や河川等の公共空間の活用等に取り組んでまいります。
19	柱1	京都芸大の卒業生をはじめとした若手芸術家等の居住・制作・発表の場をつくってほしい。	1	B	
19	柱1	空き家等を活用した、若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりへの支援策を検討してほしい。	1	B	
19	柱1	京都芸大の学生が住みやすい場所にしてほしい。	4	B	
19	柱1	市営住宅の空き住戸を京都芸大の学生の発表の場として活用してはいかか。	1	C	
19	柱1	芸術系大学の学生に対する経済的支援策を検討してほしい。	1	C	
19	柱1	障がいのある人が文化芸術に触れられる機会を増やしてほしい。	1	B	障害のある人の持つ力を最大限引き出し、社会参加の機会につなげることも文化芸術の力に期待されるところであり、将来像4の実現に向け、障害のある人に文化芸術に触れてもらう機会の拡充や、障害のある人の文化芸術活動の支援についても、検討してまいります。
19	柱1	障がいのある人が、作品を制作・発表する場をつくってほしい。	4	B	
19	柱1	九条跨線橋の高架下を文化芸術の発信の場として活用してほしい。	1	C	
19	柱1	九条跨線橋の高架下を文化芸術の発信の場として活用してほしい。	1	C	若手芸術家や学生等による、文化芸術の発信の場としての公共空間の活用を検討していくうえで、参考にさせていただきます。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
19	柱1	高瀬川を文化芸術の発信の場として活用してはいかがか。	1	B	
19	柱1	文化芸術の発信の場としての公共空間の活用に取り組んでほしい。	3	B	
19	柱1	公園に人が集まる仕組みが必要である。	1	B	
19	柱1	地域住民等が京都芸大の施設を利用できるようにしてほしい。	2	B	京都芸大と地域活動との連携については、今後検討してまいります。
19	柱1	京都芸大施設の一部を本エリアに整備してはいかがか。	3	C	京都芸大は京都駅東部エリアに一括移転することとしております。京都芸大と地域活動との連携については、今後検討してまいります。
19	柱1	「規制緩和や特例制度の活用など」の具体的な内容が分からない。	1	C	施策の具体的な内容については、今後、検討してまいります。
19	柱1	文化芸術に資する施設について、規制緩和や特例制度の活用などを行ってほしい。	2	B	本エリア全体を「若者・アートモデル地区」として、「文化芸術」と「若者」を基軸とした取組を推進していくに当たり、今後、必要な施策を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
19	柱1	「若者・アートモデル地区」とするなら、特区として、規制緩和を行ってはいかがか。	1	C	
19	柱1	海外の文化を発信する拠点をつくってはいかがか。	1	C	
19	柱1	食文化の魅力を発信する拠点をつくってはいかがか。	1	C	
19	柱1	「若者・アートモデル地区」のシンボルとなるモニュメントを制作してはいかがか。	1	C	
19	柱1	本エリア以外にある文化芸術関連施設との連携を検討してほしい。	1	C	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
19	柱1	企業と若手芸術家等の地域活動との連携の仕組みも検討してほしい。	1	A	本活性化方針「推進項目2」の記述を、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」や京都芸大をはじめとする芸術系大学、企業等と連携した、文化芸術を学び、体験する機会の提供や、地域の文化活動などの充実」と改め、企業と連携した、文化芸術を学び、体験する機会の提供や、地域の文化活動などの充実にも取り組んでまいります。
19	柱1	芸術系大学と連携して、技術の継承に取り組んでほしい。	2	B	京都駅東部エリアの「文化芸術の教育・研究機能や伝統産業振興機能」、西部エリアの「新事業創出やものづくりの技術支援機能」と、本エリアに誘致しようとしている「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」等をつなげ、文化芸術の担い手や後継者の育成も含め、文化芸術関連産業の集積、雇用の創出に取り組んでまいります。
19	柱1	文化芸術を新たな産業創出の有力な資産とするべきである。	1	B	
20	柱2	河原町通より東の4箇町についても、商業・業務・サービス機能等の集積を図ってほしい。	1	C	本エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れるために、河原町通より東の4箇町を中心に、日本の文化芸術を牽引し、世界の人々を魅了する創造環境の整備に取り組んでまいります。
20	柱2	商業・業務・サービス機能等の集積を図り、そこに文化芸術を取り入れてはかがか。	1	B	本エリア全体を「若者・アートモデル地区」として、「文化芸術」と「若者」を基軸とした取組を推進していくこととしており、商業・業務・サービス機能等の集積を図るに当たっても、「文化芸術」の視点が取り入れられるように取り組んでまいります。
20	柱2	商店が増えてほしい。	3	B	地域住民の生活利便性の向上を図るとともに、多くの方が本エリアに集うよう、商業・業務・サービス機能等の集積に取り組んでまいります。
20	柱2	スーパーマーケットができるといい。	6	B	
20	柱2	飲食店が増えてほしい。	2	B	
20	柱2	特色のある飲食店が集まるといい。	2	B	
20	柱2	空き家等に飲食店や雑貨屋ができればいい。	1	B	
20	柱2	飲食店を掲載したマップを作成し、駅や大学等に配架するといい。	1	C	
20	柱2	市民が利用できる会議室やホールがあるといい。	1	C	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
20	柱2	世界各国のマッサージが受けられる店ができればいい。	1	C	
20	柱2	地域がこれまで取り組んできた幅広い多文化共生の取組をいかした場所ができればいい。	1	B	
20	柱2	障害のある人が作った商品を販売する店ができればいい。	1	C	
20	柱2	企業活動を発信できる場所があるといい。	1	C	業務機能の集積を図るうえで、参考にさせていただきます。
20	柱2	宿泊施設を整備してほしい。	1	B	本エリアは、市内各地へのアクセスに便利な地域であり、宿泊施設の誘致促進に取り組んでまいります。
20	柱2	バリアフリー対応等、人にやさしい施設を誘導してほしい。	2	B	高齢者、障害のある人、国際的に様々な人等にやさしい施設の誘導に取り組んでまいります。
20	柱2	障がいのある人や国際的に様々な人にやさしい施設等を誘致してほしい。	1	B	
20	柱2	大型バス等の駐車場を整備してはいいかがか。	2	C	商業・業務・サービス機能等の集積を図るうえで、参考にさせていただきます。
20	柱2	山王小学校跡地にデザインを研究する施設を誘致してはいいかがか。	1	C	山王小学校跡地の活用を検討するうえで、参考にさせていただきます。
20	柱2	山王小学校跡地に現代美術館を誘致してはいいかがか。	1	C	
20	柱3	若手芸術家をはじめとする若者の移住・定住にしっかりと取り組んでほしい。	1	B	人口減少や高齢化の進展が本エリアの大きな課題であると考えており、若者の移住・定住の促進とまちづくりの担い手の育成を方策の柱の一つに位置付け、取り組んでいくこととしています。
20	柱3	空き家を貸すことに抵抗のある所有者が信頼できる活用・流通の仕組みを検討する必要がある。	1	B	空き家の活用・流通を促進するため、引き続き、空き家改修の補助制度や地域の空き家相談員による相談対応を実施するとともに、地域特性や京町家等の物的特性に応じたメリハリのある支援策、信用力のある主体によるマッチング、寄附受納、借上げ等について検討してまいります。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
20	柱3	空き家を活用・流通することが重要であり、京都市としても、経済的支援も含めた支援策を検討してほしい。	1	B	今後実施する空き家の調査の結果を基に、空き家の活用等による若者の移住・定住の促進に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
20	柱3	学生が本エリアに住めるよう、具体的な施策を検討してほしい。	1	B	
20	柱3	学生が入居できるマンションが必要ならば、市営住宅のリノベーション等も有効ではないか。	1	C	
20	柱3	住宅に困窮する若者のためのシェアハウスを整備してほしい。	1	C	
20	柱3	留学生のための宿舎を整備してはいいかがか。	1	C	
20	柱3	コーポラティブハウスを建築する動きが生まれればいい。	3	C	
20	柱3	多くの人が本エリアに住めるよう、空き家の活用に加えて、民間事業者による新たな住宅の供給に取り組んでほしい。	2	C	
20	柱3	市営住宅の申込資格を見直してほしい。	1	C	
20	柱3	学生も市営住宅に入居できるようになるといい。	1	C	
20	柱3	市営住宅の家賃が安くなるよう、制度を見直してほしい。	1	C	
20	柱3	若者がまちづくりに参画する仕組みをつくる必要がある。	1	B	将来のまちづくりの担い手の確保が大きな課題であると考えており、若者の移住・定住の促進と同時に、地域活動への参加の橋渡しなどにも取り組んでまいります。
20	柱3	新たに住む若者が、住むだけでなく、まちづくりに参画する仕組みをつくる必要がある。	2	B	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
20	柱3	マップやホームページの作成等により、本エリアの魅力を対外的に発信していくことが必要である。	1	B	本エリアの魅力を対外的に発信していくうえで、参考にさせていただきます。
20	柱3	ソーシャルビジネスの創出に取り組んでほしい。	1	B	
21	柱4	地域がこれまで取り組んできた幅広い多文化共生の取組と、文化芸術の新たな取組を融合する仕組みが必要である。	2	B	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家などと京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、取組を進めてまいります。
21	柱4	新たに本エリアで活動する芸術家等と、以前から住んでいる人との調和を図ることが必要である。	3	B	
21	柱4	多様に利用できるオープンスペースを確保するべきである。	3	B	未活用の市有地の活用を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	未活用の市有地に定期借地権付き住宅を建設してはかがか。	1	C	
21	柱4	障がい者施設を増やしてほしい。	1	C	
21	柱4	スポーツが楽しめる場所がほしい。	5	C	
21	柱4	未活用の市有地をスポーツや文化芸術のイベント等に暫定利用してはかがか。	1	C	
21	柱4	子どもが学び、遊べる場所がほしい。	1	C	
21	柱4	低・未利用地を農地として利用してはかがか。	1	C	
21	柱4	低・未利用地を安価で利用できるようにしてほしい。	1	C	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方	
21	柱4	施設の整備は、民間の事業者が行うべきである。	2	C		
21	柱4	未活用の市有地の活用については、柔軟な発想で取り組むべきである。	1	B		
21	柱4	未活用の市有地を早期に活用してほしい。	1	B		
21	柱4	子どもが遊び、学べる場所がほしい。	2	C		
21	柱4	安価な有料駐車場を整備してほしい。	1	C		
21	柱4	より有効に活用するために、市有地と民有地の交換等を検討してはいかがか。	1	C		
21	柱4	京都芸大の学生の演奏が聞ける公園や広場を設けてほしい。	1	B		
21	柱4	外国籍の方向けの、子どもの教育に関する相談センターを整備してはいかがか。	1	C		
19	柱1	地域住民等が利用できる、防音設備のある施設を整備してほしい。	3	C		
21	柱4	「市営住宅の空き店舗」の意味がわかりにくい。	1	C		「市営住宅の空き店舗」とは、市営住宅の一階部分に整備した店舗のうち、現在営業していない店舗を意味するものです。
21	柱4	地域・多文化交流ネットワークセンターの活用等により、幅広い多文化共生を更に進めてほしい。	1	B		地域住民はもとより、多様な市民がまちづくり活動等に参画できる機会の促進に取り組んでまいります。
21	柱4	地域住民等が交流できる場があるといい。	1	B		

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
21	柱4	人が交流できる場をつくってほしい。	1	B	
21	柱4	まちづくりに取り組む人・団体の支援策(経済的支援等)を検討してほしい。	1	B	幅広い多文化共生に取り組む市民・団体の活動支援とネットワークの拡充を進めるうえで、検討してまいります。
21	柱4	地域の文化活動等の担い手の支援策を検討してほしい。	1	B	
21	柱4	JR東海道線の南北を行き来しやすくしてほしい。	5	B	JR東海道線の南北をつなぐ歩行環境の整備を検討してまいります。
21	柱4	都心部と本エリアを結ぶバス路線を新設してほしい。	1	C	活性化方針の具体化に取り組んでいくなかで、人口の動向や周辺の開発状況を注視しながら、検討してまいります。
21	柱4	バス停を増設してほしい。	1	C	
21	柱4	道が暗いので、街灯を増設するなどして、明るくしてほしい。	9	B	歩行者が安心・安全、快適に通行いただけるよう、道路空間の創出を進めるうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	歩道に段差が多く、歩きにくいので、改善してほしい。	2	B	
21	柱4	道路の緑化に取り組んでほしい。	1	C	
21	柱4	鴨川周辺を清潔に維持してほしい。	1	C	
21	柱4	須原通の名称を表示してほしい。	1	C	
21	柱4	歩道の標識のデザインを改善してほしい。	1	C	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
21	柱4	路上喫煙等禁止区域に指定してほしい。	1	C	禁止区域だけでなく市内全域において、路上での喫煙マナーの向上に取り組んでまいります。
21	柱4	高瀬川の環境を整備してほしい。	3	C	高瀬川や鴨川により、魅力ある水辺空間が形成されていることは、本エリアの重要な地域資源の一つであり、若手芸術家や学生等による、文化芸術の発信の場として活用することも含め、その魅力がさらに向上するよう、検討してまいります。
21	柱4	魅力ある水辺環境や広場をいかして、魅力ある景観の形成に取り組んでほしい。	1	B	
21	柱4	高瀬川の環境を整備するとともに、雇用の創出につなげてほしい。	1	C	
21	柱4	公園を清潔に維持してほしい。	4	B	適正な公園の維持管理に取り組んでまいります。
21	柱4	公共空間を清潔に維持してほしい。	2	B	適正な維持管理に取り組んでまいります。
21	柱4	公園にバリアフリートイレを設置してほしい。	1	C	すべての人が公園を安全・快適に利用できるよう検討してまいります。
21	柱4	居住環境のより一層の向上に取り組んでほしい。	1	B	すべての人が心豊かに安心・安全に住み続けられるまちとしていくうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	危険箇所の改善に取り組んでほしい。	2	B	
21	柱4	若者が増えることによる騒音を懸念する。	1	C	
21	柱4	九条河原町に交番を開設してほしい。	1	C	
21	柱4	地域における犯罪及び事故を未然に防止するための取組を更に徹底してほしい。	1	C	地域における犯罪及び事故を未然に防止するための生活安全施策を推進していくうえで、参考にさせていただきます。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
21	柱4	こども110番の家が増えるといい。また、その看板を京都芸大の学生に制作してもらってはいかがか。京都芸大にもその機能を担ってほしい。	1	C	「こども110番のいえ」については京都府警察の制度になりますが、今後の生活安全施策を推進していくうえで参考とさせていただきます。
21	柱4	地域がこれまで取り組んできた幅広い多文化共生の取組を学ぶ機会を設けてほしい。	1	B	地域と協働し、文化活動等を通じた大学・学生・若者と地域の交流、まちづくりへの参加促進に取り組んでまいります。
21	柱4	地域の文化活動等に、地域以外の人からも広く参加してもらうようにすればいい。	2	B	
21	柱4	交流する場として市立浴場を設置してほしい。	1	C	
21	柱4	魅力ある景観の形成に取り組んでほしい。	3	B	まちなかで四季を感じる事ができる水辺環境等をいかし、魅力ある景観の形成に取り組んでまいります。
21	柱4	本エリア内の施設を活用して、食文化の魅力発信や福祉の充実に取り組んでほしい。	1	C	目指すべき将来像の実現に向け、既存の施設が更に有効に活用されるよう、取り組んでまいります。
21	柱4	図書館に、子供に読み聞かせができる場所を設けてほしい。	1	C	今後、図書館運営の在り方を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	新しい図書館を整備してほしい。	1	C	本市では、4つの中央図書館をはじめ、市内一円に計20の図書館を設置・運営し、さらに、図書館まで来館していただくことが困難な地域には、「移動図書館こじか号」が月1回、41か所を巡回しております。これにより、図書館サービスは市内を網羅できていると考えており、現時点において、新しく図書館を設置する予定はございませんが、今後、図書館運営のあり方を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方の生活相談窓口を設けてほしい。	1	C	様々な人が心豊かに住み続けられるまちづくりに取り組むうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	市営住宅の空き店舗を高齢者や障がい者、貧困家庭の子どもの居場所づくりに活用してほしい。	1	C	活性化方針の具体化に取り組んでいくうえで、参考にさせていただきます。
21	柱4	未活用の市有地の活用を検討するとき、地域住民の意見を聞いてほしい。	1	B	未活用の市有地の活用方法については、地域の方々の思いも聞きながら、地域の活性化に資する活用ができるよう、しっかりと検討してまいります。
21	柱4	不登校のこどもの居場所づくりに取り組んではいかがか。	1	C	今後の不登校対策の展開を図るうえで、参考にさせていただきます。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
22	イメージ	JR東海道線の南北をつなぐ仕組みを検討してほしい。	1	B	京都駅周辺の各エリアを含めた、周辺地域との連携が必要であると考えており、文化芸術、観光・産業、教育等、様々な観点から、連携の仕組みを検討してまいります。
22	イメージ	京都芸大と産業との連携を図るべきである。	1	B	京都芸大の移転整備においては、芸術を核に、科学・医療・福祉・農業・産業技術など、ジャンルを超えた交流・協働を進め、先進的な研究・創造活動に取り組める場を整備してまいります。
23	推進	地域住民が望むまちづくりを進めてほしい。	1	B	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家など京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、取組を進めてまいります。
23	推進	地域住民の意見を聞きながら、まちづくりを進めてほしい。	4	B	
23	推進	地域住民や芸術家、若者が共に考え、活動する場をつくってほしい。	1	B	
23	推進	活性化方針策定後、地域住民が参加するワークショップ等、様々な手法を用いて、地域住民等にその内容を積極的に周知してほしい。	1	A	活性化方針策定後、地域住民をはじめ、幅広く活性化方針の周知に取り組んでまいります。
23	推進	活性化方針を地域の人に共有してもらうことが重要である。	1	A	
23	推進	本エリアが目指す将来像を広く発信する取組を行うといい。	1	A	
23	推進	地域の歴史的経過等を正しく発信していくことが必要である。	2	B	活性化方針を周知するなかで、地域の歴史的経過についても、正確に発信してまいります。
23	推進	本エリアが目指すべき方向性を端的に示すフレーズを付けてはいかかがか。	1	C	活性化方針の周知に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
23	推進	「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりを地域に根付いたものにしていくことが重要である。	1	B	「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりが地域に根付いたものとなるよう、地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家など京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、取り組んでまいります。
23	推進	推進主体が明確でない。	2	A	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家など京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、取組を進めていくなかで、個々の推進項目の内容や実施主体、スケジュール等について、具体化していきたいと考えております。

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方	
23	推進	地域住民や事業者等の意見を聞いて、実施主体を明確にした活性化方針を策定すべきである。	1	B		
23	推進	活性化方針策定後、速やかに推進項目の具体化、スケジュールリングに取り組むことが必要である。	2	B		
23	推進	推進項目の優先順位やスケジュールを明確にすべきである。	2	B		
23	推進	若者等から幅広く意見を聞き、その柔軟な発想をいかして、まちづくりに取り組んでほしい。	1	B		
23	推進	活性化方針策定後、速やかにスケジュールリングに取り組むことが必要である。	1	B		
23	推進	推進項目が具体的でない。	1	C		
23	推進	財源の確保もしっかりと検討する必要がある。	2	B		
23	推進	若者の柔軟な発想をいかして、まちづくりに取り組んでほしい。	1	B		文化活動等を通じた大学・学生・若者と地域の交流、まちづくりへの参加促進に取り組み、若者の思い、知恵と力をいかして、取組を進めてまいります。
23	推進	まちづくりを推進するためには、行政の総合的な取組が必要である。	1	B		京都市も、推進主体の一つとして、すべての推進項目の早期実現に向け、しっかりと取り組んでまいります。
23	推進	まちづくりをコーディネートする人材・組織が必要である。	1	B		まちづくりの担い手の確保と併せて、本エリアの活性化を牽引するリーダーの育成も検討してまいります。
23	推進	スピード感を持って、推進項目の実現に取り組んでほしい。	1	B	着手可能な推進項目には速やかに着手し、その成果もいかしながら、すべての推進項目の早期実現を目指してまいります。	
23	推進	これまで地域が培ってきた多様な人のつながりに、新たに本エリアで活動する人や団体等が上手く連携することが必要である。	2	B	地域住民や地域団体をはじめ、NPO、企業、芸術家などと京都市が、思いを伝え合い、知恵と力を出し合いながら、取組を進めてまいります。	

ページ	関連項目	意見概要	件数	区分	本市の考え方
24	その他	本エリアの活性化の取組をモデルとして、他の地域にも広げてほしい。	1	D	市内中心地域から山間地域まで、それぞれの貴重な資源やポテンシャルをいかして、人々を引き付け魅了する、個性と活力あふれるまちづくりを一層推進してまいります。
24	その他	市民税や国保料の減免など、京都市に住む若者や若手芸術家の経済的支援策を検討してほしい。	1	D	市政運営を行うなかで、参考にさせていただきます。
24	その他	子どもの貧困対策に取り組む必要がある。	1	D	本市の貧困家庭の子ども等への支援については、平成28年4月に設置した「貧困家庭の子ども・青少年対策プロジェクトチーム」において議論を深めており、アンケート調査や実態把握の結果を踏まえたうえで、平成28年度中に必要な支援策等を掲げた実施計画を策定し、取り組むこととしております。
24	その他	飲酒運転や路上駐車取締りを強化してほしい。	2	D	引き続き、京都府警察等の関係機関や地域と連携し、交通安全市民運動をはじめとした各種啓発活動等に取り組んでまいります。
24	その他	京都芸大のグラウンドは、緊急避難場所として使用できるようにすべきである。	1	D	京都芸大の基本設計・実施設計を行うなかで、参考にさせていただきます。
24	その他	銅駝美術工芸高等学校だけでなく、京都堀川音楽高等学校も、京都芸大と同じ敷地に移転すべきである。	1	D	京都堀川音楽高校は平成22年度に新校舎を建設しており、銅駝美工が移転を計画している京都駅東部エリアの京都芸大移転予定地へ移転する予定はありません。京都堀川音楽高校では京都芸大の教員を講師に招くなどの連携をしておりますが、京都芸大の移転を契機にさらなる連携を検討してまいります。
24	その他	銅駝美術工芸高等学校について、移転を機に、専攻を増やすことを検討してほしい。	1	D	京都駅東部エリアの京都芸大移転予定地への移転を計画している銅駝美工の教育内容等については、同校の教職員で構成する「改革推進委員会」での議論を踏まえ、教育委員会として検討してまいります。
24	その他	京都駅八条口側の喫煙所を廃止してほしい。	1	D	路上喫煙の防止に高い効果があるため喫煙場所を設置しているものであり、利用者に対しては、マナーを守って喫煙してもらうよう啓発を実施しております。